

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成26年2月14日

【四半期会計期間】 第143期第3四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

【会社名】 株式会社ソトー

【英訳名】 SOTOH CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 高岡 幸郎

【本店の所在の場所】 愛知県一宮市籠屋五丁目1番1号

【電話番号】 0586(45)1121(大代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役経営管理部長 上田 康彦

【最寄りの連絡場所】 愛知県一宮市籠屋五丁目1番1号

【電話番号】 0586(45)1121(大代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役経営管理部長 上田 康彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第142期 第3四半期 連結累計期間	第143期 第3四半期 連結累計期間	第142期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	8,414,711	8,173,107	10,633,255
経常利益 (千円)	485,050	1,012,577	400,113
四半期(当期)純利益 (千円)	410,159	720,304	772,204
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	477,580	1,103,187	1,348,974
純資産額 (千円)	14,328,435	15,793,732	15,199,830
総資産額 (千円)	17,155,570	18,619,292	17,826,341
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	32.23	56.60	60.67
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	83.6	85.0	85.4

回次	第142期 第3四半期 連結会計期間	第143期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益又は四 半期純損失金額 (円)	1.55	26.51

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中に記載した金額には消費税等の金額は含んでおらず、将来に関する事項の記載については当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和や財政出動による景気回復への期待感から、円安・株高が進み、輸出関連企業を中心に業績が改善されつつあります。

繊維業界におきましては、一部に個人消費改善の動きがありますものの、依然としてデフレの状況であり、業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような情勢のなかで当社グループは、差別化加工の開発・提案による売上高の確保、省エネ活動等によるコスト競争力の強化を図ってまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高81億7千3百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益5億3千3百万円（前年同期比25.7%増）となりました。営業外収益において投資事業組合運用益を3億4千7百万円計上したこと等により、経常利益は10億1千2百万円（前年同期比108.8%増）となり、四半期純利益は7億2千万円（前年同期比75.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

「染色加工事業」は、織物の生産減の影響を受けながらも、省エネ活動等によるコスト削減により、売上高59億9千1百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益2億9千2百万円（前年同期比43.8%増）となりました。品種別売上高は、織物が30億8千7百万円（前年同期比4.5%減）、ニットが29億4百万円（前年同期比1.3%増）であります。

「テキスタイル事業」は、受注減により売上高17億6千5百万円（前年同期比6.8%減）、営業損失1千3百万円（前年同期は営業損失4千3百万円）となりました。

「不動産賃貸事業」は、売上高4億1千6百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益2億5千3百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間の総資産は、主に現金及び預金の増加等により、前連結会計年度と比べ7億9千2百万円増加し、186億1千9百万円となりました。負債につきましては、主に繰延税金負債の増加等により、前連結会計年度と比べ1億9千9百万円増加し、28億2千5百万円となりました。純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の増加等により前連結会計年度と比べ5億9千3百万円増加し、157億9千3百万円、自己資本比率は85.0%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、9千5百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	13,933,757	13,933,757	東京証券取引所 (市場第二部) 名古屋証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株でありま す。
計	13,933,757	13,933,757		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日		13,933		3,124,199		359,224

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,206,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,716,400	127,164	
単元未満株式	普通株式 10,857		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	13,933,757		
総株主の議決権		127,164	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式21株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ソトー	愛知県一宮市竈屋 5 1 1	1,206,500		1,206,500	8.6
計		1,206,500		1,206,500	8.6

2 【役員 の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,164,260	1,884,399
受取手形及び売掛金	² 1,845,686	² 2,493,063
有価証券	2,692,380	2,834,381
完成品	168,035	215,409
仕掛品	239,775	213,101
原材料及び貯蔵品	304,761	297,452
繰延税金資産	222,257	95,323
その他	69,730	70,345
貸倒引当金	5,628	7,314
流動資産合計	6,701,259	8,096,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,583,441	1,525,538
機械装置及び運搬具(純額)	1,093,879	916,190
土地	1,251,180	1,251,180
リース資産(純額)	1,398	4,594
建設仮勘定	-	47,487
その他(純額)	141,338	105,404
有形固定資産合計	4,071,238	3,850,394
無形固定資産		
のれん	76,190	47,619
その他	23,802	20,757
無形固定資産合計	99,993	68,377
投資その他の資産		
投資有価証券	6,177,091	5,786,453
長期貸付金	296	296
繰延税金資産	157,047	156,185
その他	622,663	663,814
貸倒引当金	3,248	2,390
投資その他の資産合計	6,953,849	6,604,359
固定資産合計	11,125,081	10,523,130
資産合計	17,826,341	18,619,292

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	403,462	488,921
短期借入金	45,500	63,000
リース債務	798	838
未払法人税等	13,960	97,425
未払費用	274,090	173,046
役員賞与引当金	9,000	9,000
その他	623,033	508,762
流動負債合計	1,369,845	1,340,994
固定負債		
リース債務	599	3,984
退職給付引当金	475,033	444,757
長期預り保証金	618,663	618,663
繰延税金負債	91,243	346,840
資産除去債務	63,300	63,300
その他	7,826	7,020
固定負債合計	1,256,665	1,484,566
負債合計	2,626,510	2,825,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,124,199	3,124,199
資本剰余金	1,348,828	1,348,828
利益剰余金	11,375,583	11,586,795
自己株式	1,361,640	1,361,833
株主資本合計	14,486,970	14,697,990
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	737,062	1,128,282
その他の包括利益累計額合計	737,062	1,128,282
少数株主持分	24,202	32,540
純資産合計	15,199,830	15,793,732
負債純資産合計	17,826,341	18,619,292

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	8,414,711	8,173,107
売上原価	7,144,908	6,864,388
売上総利益	1,269,803	1,308,719
販売費及び一般管理費	845,363	775,297
営業利益	424,440	533,422
営業外収益		
受取利息	3,606	30,748
受取配当金	92,936	96,572
投資事業組合運用益	-	347,641
その他	18,111	18,115
営業外収益合計	114,654	493,077
営業外費用		
支払利息	383	726
売上割引	30,630	12,194
投資事業組合運用損	21,102	-
その他	1,928	1,001
営業外費用合計	54,044	13,922
経常利益	485,050	1,012,577
特別利益		
固定資産売却益	3,751	1,055
特別利益合計	3,751	1,055
特別損失		
固定資産処分損	6,394	8,483
特別損失合計	6,394	8,483
税金等調整前四半期純利益	482,407	1,005,149
法人税等	91,027	293,182
少数株主損益調整前四半期純利益	391,380	711,967
少数株主損失()	18,779	8,337
四半期純利益	410,159	720,304

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	391,380	711,967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86,199	391,220
その他の包括利益合計	86,199	391,220
四半期包括利益	477,580	1,103,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	496,359	1,111,524
少数株主に係る四半期包括利益	18,779	8,337

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期 間 (平成25年12月31日)
受取手形割引高	173,448千円	82,698千円

- 2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期 間 (平成25年12月31日)
受取手形	17,208千円	17,457千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	622,291千円	556,499千円
のれんの償却額	28,571千円	28,571千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	254,548	20	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金
平成24年11月7日 取締役会	普通株式	254,547	20	平成24年9月30日	平成24年12月3日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	254,547	20	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金
平成25年11月7日 取締役会	普通株式	254,544	20	平成25年9月30日	平成25年12月2日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	染色加工事業	テキスタイル事業	不動産賃貸事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,101,238	1,894,273	419,199	8,414,711		8,414,711
セグメント間の内部売上高又は振替高	215,342		20,060	235,402	235,402	
計	6,316,581	1,894,273	439,259	8,650,114	235,402	8,414,711
セグメント利益又は損失()	203,590	43,160	264,010	424,440		424,440

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	染色加工事業	テキスタイル事業	不動産賃貸事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,991,585	1,765,116	416,405	8,173,107		8,173,107
セグメント間の内部売上高又は振替高	191,536	2,249	22,325	216,111	216,111	
計	6,183,122	1,767,365	438,730	8,389,218	216,111	8,173,107
セグメント利益又は損失()	292,790	13,117	253,749	533,422		533,422

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	32円23銭	56円60銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	410,159	720,304
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	410,159	720,304
普通株式の期中平均株式数(株)	12,727,393	12,727,292

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第143期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)中間配当については、平成25年11月7日開催の取締役会において、平成25年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	254,544千円
1株当たりの金額	20円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年12月2日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月14日

株式会社ソトー
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松本千佳

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大谷浩二

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ソトーの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ソトー及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。